

エアレギュレーター圧力計の確認・操作方法

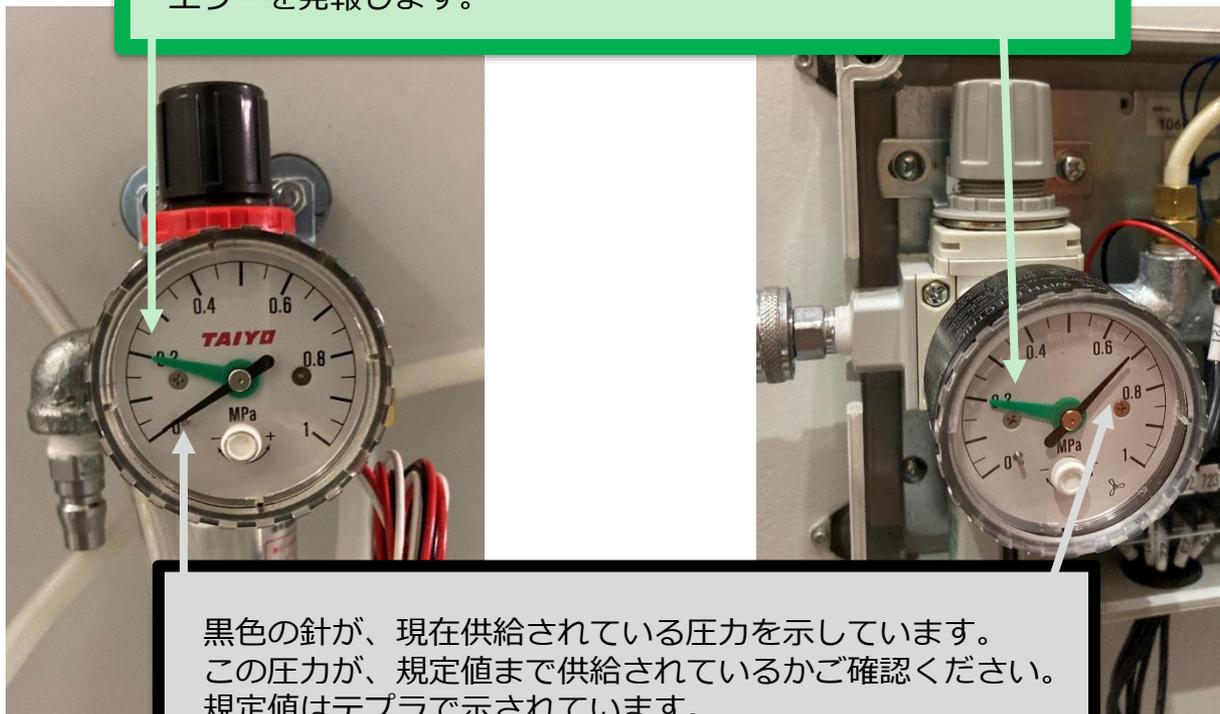


1 レギュレーターの確認方法

NEUボックス もしくは振動試験装置本体に付属しています。

圧力計の確認方法は以下の通りです。

緑色の針が、エラー閾値を示しています。
この数値より供給空気圧(黒色の針)が下回った場合に
エラーを発報します。



黒色の針が、現在供給されている圧力を示しています。
この圧力が、規定値まで供給されているかご確認ください。
規定値はテプラで示されています。

エアレギュレーター圧力計の確認・操作方法



2 SUB 2 が発報する場合

システムコントローラーの[POWER]ボタンを押した状態で、一次空気圧が規定値以下である場合に発報します。

つまり、圧力計の**黒い針**(現在値)が、**緑の針**(エラー閾値)を下回った場合です。



エラー発報している状態で圧力計を確認いただき、

黒い針が低い値を示している場合→ **A**

黒い針が規定値を指している場合→ **B**

どちらの状態かにより操作方法が変わります。

それぞれの状態の操作方法を次頁以降に記します。

エアレギュレーター圧力計の確認・操作方法



A

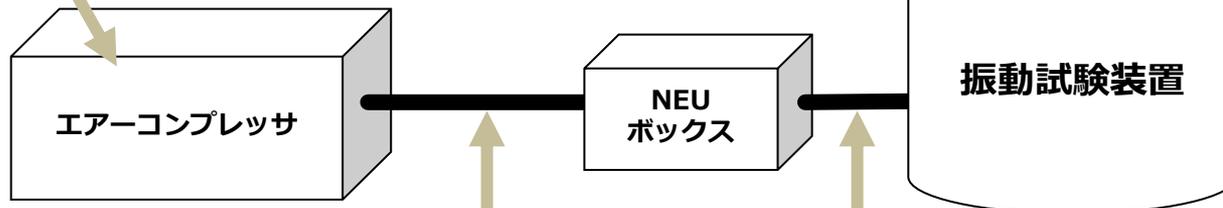
一次空気圧が規定値以下の場合

黒い針が0.2MPa以下を示している場合は

圧力計まで空気が供給されていない、もしくは圧力が確保できていません。

以下事項をご確認ください。

- 電源ON/OFF 確認
- 圧力確認
- 元栓は [開] になっているか？



- エアホースは接続されているか？
- エアホースコネクタの緩みはないか？
- ホースからエア漏れ・破れ・キンク 等ないか？

エアレギュレーター圧力計の確認・操作方法



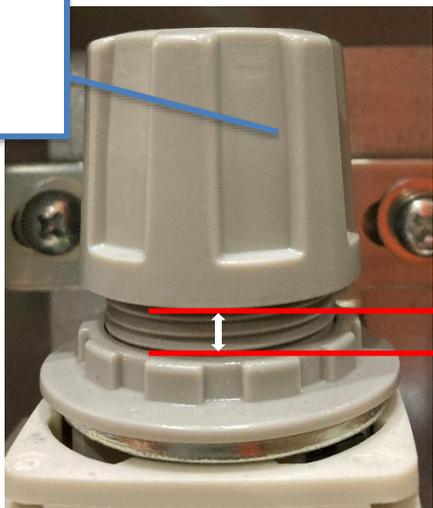
A レギュレータで圧力を調整する

空気が確実にNEUボックスまで(レギュレータ)まで供給されていることが確認できた場合、レギュレータを操作し圧力を調整してください。

※IMVからの指示があった場合にのみ操作してください。

蓋を上を持ち上げて解放状態にしてください

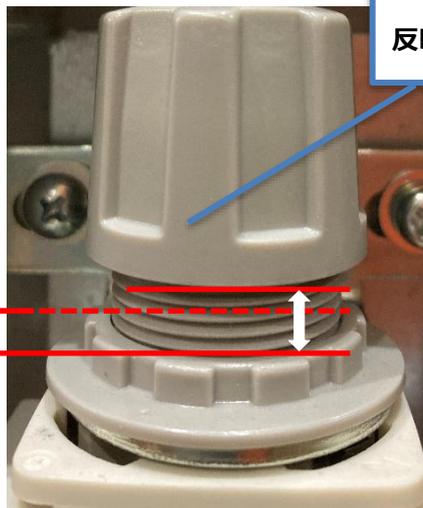
※蓋は少しだけ持ち上がります。
無理に力を加えると
破損する可能性があります。



持ち上がった状態で、

時計回り(右回し)にすると圧力が上がります。
規定値まで上げてください。

反時計回り(左回し)にすると圧力が下がります。



上記操作を行っても改善されない場合は、故障している可能性があります。

エアレギュレーター圧力計の確認・操作方法

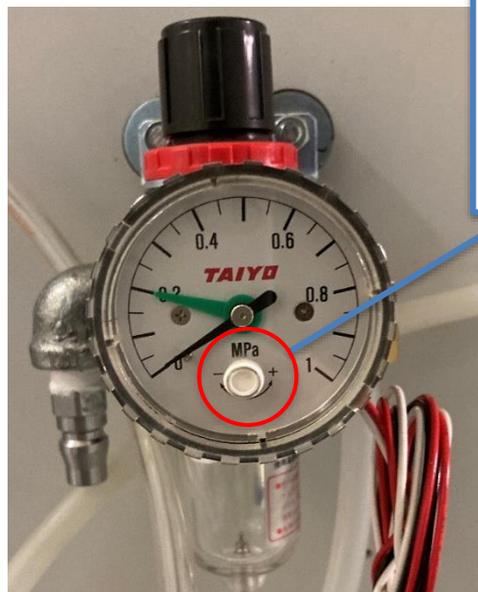


B 黒い針が正常位置にいる場合

空気が確実にNEUボックスまで(レギュレータ)まで供給されており、かつ黒い針が規定値を指している場合は、以下の次項が考えられます。

- ①緑の針が黒い針より、高い値に設定されている(エラー閾値0.2MPa以上が設定されている)
- ②圧力計の故障

①の場合は以下の図に従い、エラー閾値を再調整してください。



白いキャップを外し、ドライバーで操作します。
エラー閾値 0.2MPaまで調整してください。